

# 令和5年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	家庭	科目名	保育基礎	単位数	2	履修学年・クラス	2C
担当者		使用教材	保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ(教育図書)				
学習目標	○保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ○子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ○子どもの健やかな発達を目指して学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						
学習方法	○子どもの発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて、具体的な例を取り上げて学習する。 ○子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として考える。 ○実技を通して、基本的な保育技術を実践的に身につける。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	・子どもの発達や生活の特徴、保育、福祉や文化などについての知識を体系的・系統的に身につけている。 ・子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身につけている。				
	思	思考・判断・表現	・子どもを取り巻く課題を見つけ、保育を担う職業人の視点から合理的かつ創造的に解決するために、思考を深め、適切な判断や工夫、表現をする力を身につけている。				
	態	主体的に取り組む態度	・子どもの発達や保育にかかわる職業について関心を持ち、地域の保育や子育て支援を通じて子どもの健やかな発達に寄与しようとする意欲的な態度を身につけている。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	1章 子どもの保育	① 保育の意義 ② 保育の環境 ③ 保育の方法 実技: 乳児の抱っこ、ミルクの作り方	○	○	○	[知]・子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。 ・保育における保護者や保育者の役割を理解している。 [思]・子どもの保育の特徴や、保育者に求められる姿勢などについて要点をまとめることができる。 [態]・保育の意義について、自分自身が親や保育者になることを考えるなど、自分の人生観と結びつけて考えようという姿勢が見られる。	・授業態度 ・学習プリント ・課題提出 ・考査 ・実技
	2章 子どもの発達	① 子どもの発達の特性	○	○	○		
前期末	3章 子どもの生活	② 乳幼児の発育と発達 ① 子どもの健康と生活 ② 子どもの食事 ③ 子どもの衣服と寝具 実技: 離乳食作り、折り紙製作	○	○	○	[知]・乳幼児の発育や生理的特徴が大人とは大きく異なることを理解している。 ・発達の各側面における過程を理解している。 ・発達の過程で子どもができるようになることを、月齢や年齢に応じて挙げることができる。 ・情緒や社会性といった心の発達に関して、親や保育者との愛着形成が重要であることを理解している。 [思]・母子健康手帳などの資料を見ながら、発達の各側面が相互に関連し合っていることを読み取り、具体的に考察することができる。 [態]・食育活動などに関心を持ち、地域での子どもの食生活にかかわる取り組みについて主体的に情報を収集しようとしている。 ・調理に関心を持ち、調理実習に積極的に参加している。	・授業態度 ・学習プリント ・課題提出 ・考査 ・実技
	4章 子どもの福祉	④ 子どもの健康と安全 ① 保育にみる児童観 ② 児童福祉の理念と法規・制度 実技: 沐浴、着替え	○	○	○		

後期中間	5章 子どもの文化	① 子どもの文化の意義 ② 子どもの文化を支える場 ③ 子どもと遊び ④ 子どもの表現活動 実技: 絵本の読み聞かせ	○	○	○	[知]・子どもの健やかな発達が遊びによってもたらされることを理解している。 ・おもちゃ作りなどの活動を通して、子どもの遊びの特徴や、保育者としての適切なかかわり方を捉えている。 [思]・表現活動において、子どもの意欲を引き出すために保育者はどのようにかかわるとよいか、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。 [態]・身近な地域の遊びについて関心を持ち、公園などの利用状況や、遊び場を支えるNPO法人などの活動について積極的に調べようとしている。 ・保育施設で行われている表現活動に関心を持ち、積極的に体験しようとしている。	・授業態度 ・学習プリント ・課題提出 ・考査 ・実技
	後期末		○	○	○		